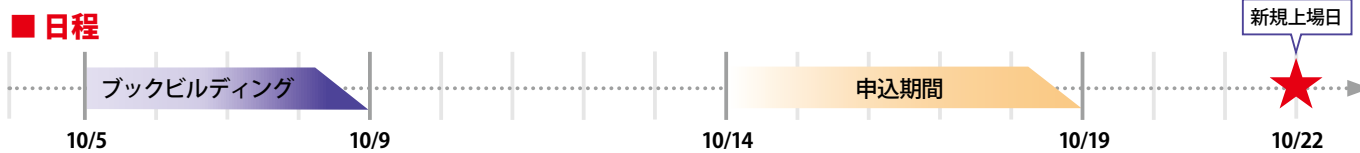


IPO銘柄 グリーンペプタイト (4594・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
4594	100株	公募: 650.00万株 売出: 605.29万株 (OA188.29万株)	450円~ 550円 (-)	みずほ証券



免疫メモリーに着目した、がん免疫治療薬の開発を推進

■ 事業内容

久留米大学医学部の伊東恭悟教授 (当時) らが先駆的に実施したがんペプチドワクチンの基礎研究、臨床研究の成果を継承して設立された、がん免疫治療薬の開発を手掛けるバイオベンチャー。パイプラインは日本国内で臨床試験実施中のがんペプチドワクチン「ITK-1」と、米国で非臨床試験実施中のグローバル向けがんペプチドワクチン「GRN-1201」の2本。「ITK-1」は富士フイルムにライセンスアウトしており、最終段階であるフェーズⅢにある。医薬品開発事業の単一業態。

■ 特徴

有効な治療法のない医療ニーズ (アンメット・メディカル・ニーズ) を満たす治療薬を目指している。がんペプチドワクチンは患者個人ごとの免疫機構ががん細胞を攻撃したこと (免疫メモリー) があるかどうかを投与前にバイオマーカーで確認し、免疫メモリーのあるペプチドを投与する。より強い免疫を早く誘導でき、より高い臨床効果に結び付くという。免疫メモリーに着目する独自の投与方法と、複数のペプチドを同時に投与する方式に特徴を持つ。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年3月期の非連結経常損益は13億2,800万円の赤字を見込んでいる。前期実績は4億1,300万円の赤字だった。パイプラインの進捗によって開発費が膨らむ見通し。また、前期は新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) からの助成金が計上されていた。

■ 定性分析

足元の業績が赤字で市場からの吸収金額も大きいバイオ株はIPOマーケットで警戒されることが多い。富士フイルムとの関係性は注目点ではあるが、足元の株式市場が外部要因主導で不安定な動きとなっていることもあり、不透明感が強まっている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約79億円。荷もたれ感が非常に大きいほか、上位株主をベンチャーキャピタルが占めていることもあって需給面への不安は大きい。ブックビルディング期間の一部が日本郵政グループ3社と重なることも懸念材料。 (小泉健太)

■ 類似企業

グリーンペプタイト (4594・マザーズ)	予想PER— (仮条件上限)
テラ (2191・JASDAQ)	予想PER—
ナノキャリア (4571・マザーズ)	予想PER—

■ 引受証券

みずほ証券、いちよし証券、エース証券、SBI証券、香川証券、マネックス証券、東海東京証券、藍澤證券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年3月期(実績)	933	2.1 倍	19	▲ 91.3	17	▲ 92.0	1.5	—
15年3月期(実績)	821	▲12.0	-413	赤転	-412	赤転	-20.6	—
16年3月期(会社予想)	832	1.3	-1,328	赤転	-1,329	赤転	-47.2	—

※ 15年7月に普通株式(4万2,428株)を発行し同数の優先株を取得・消却
同月に株式分割(1株→100株)を実施。14年3月期、15年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年3月期	119,443	396	189	16	4.5	46.5	10.0
15年3月期	253,077	1,227	1,024	642	30.7	83.4	—

※ 14年3月期および15年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	イノベーション・エンジン創業支援 投資事業有限責任組合	6,550,000	24.57
2	九州ベンチャー投資事業有限責任組 合	2,975,000	11.16
3	アイビス新成長投資事業組合第2号	2,500,000	9.38
4	JSR・mbIVCライフサイエンス投資事 業有限責任組合	2,000,000	7.50
5	三菱UFJキャピタル	1,750,000	6.56
6	イノベーション・エンジン三号投資 事業有限責任組合	1,500,000	5.63
7	NVCC6号投資事業有限責任組合	1,000,000	3.75
7	NCCC7号投資事業有限責任組合	1,000,000	3.75
7	滋慶	1,000,000	3.75
10	安田企業投資3号投資事業有限責任 組合	833,000	3.12

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	永井 健一
取締役 研究開発部長	脇 豊
取締役	山田 亮
取締役 管理部長	酒井 輝彦
取締役	竹内 弘高
監査役(常勤)	今井 義浩
監査役	阿部 武敏
監査役	山口 芳泰

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会